

青木英五郎

本名 青木英五郎

辯護士。

明治四十一年十一月九日神奈川県生れ、

昭和五十六年一月二日歿（一九九一—）。京都帝國大學法學部卒。裁判

官生活より、昭和二十七年最高裁判所の八海事件處理に抗議して辭任。

辯護士として多く同事件を擔當、爾後に保事件、狭山事件など冤罪事件の辯護に當る。『青木英五郎著作集』全二卷（昭和六十二年刊）がある。

著書 『裁判官の職責と責任』（昭和二十八年五月十五日日本評論新社）、

『裁判を見る眼—法津知郎の裁判批判』（昭和四十六年八月—二十五日

一粒社）、『「狭山裁判」批判』（昭和五十年八月—二十日法城・辺境

社、勁草書房発売）、『日本の刑事裁判—冤罪を生む構造』（昭和五

十四年五月—二十一日岩波書店「岩波新書」）等。

